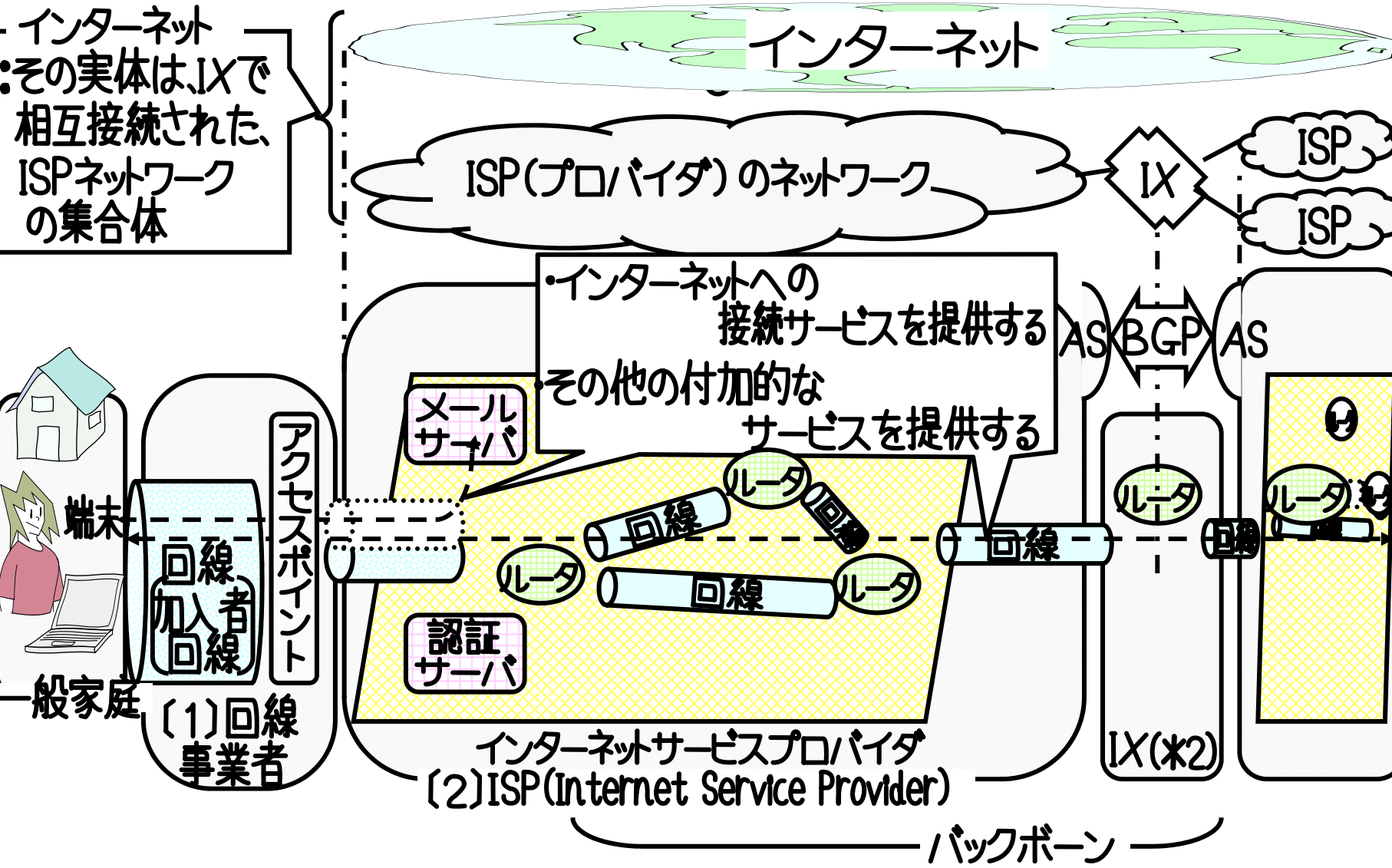
「フリーソフトで名刺を作ろう！」

岐阜経済大学
経営学科　経営情報学科
井戸　伸彦

■スライドの構成

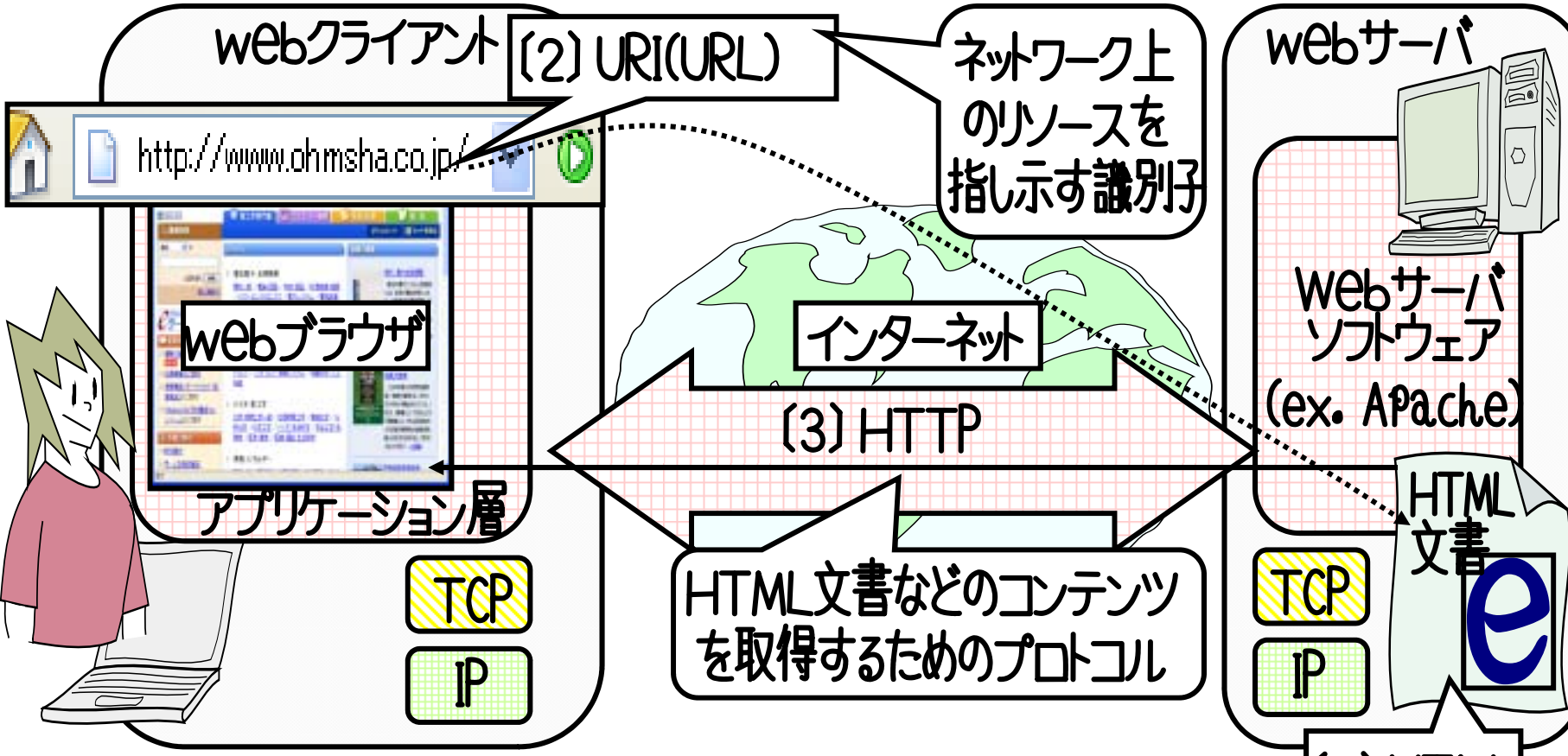
- (1) インターネットの利用
- (2) 名刺を作ろう！
  - (2．1) ソフトウェアのダウンロード
  - (2．2～2．4) 手順
  - (2．5) ファイルを“解凍”
- (3) こんな名刺を作ろう
- (4) 名刺作成ソフト
  - (4．1) メニュー
  - (4．2～4．15) 手順
- (5) “gkufs”って何だ？
- おわりに

(1．1) インターネットってなんだ？



*2: Internet Exchange、ISP間の相互接続ポイント。

(1．2)WWWの基本的な3つの技術



HTTP:HyperText Transfer Protocol
HTML:HyperText Markup Language
URI:Uniform Resource Identifier

端末上で表示するための文書の記述方法(言語)

図12-1 基本となる3つの技術(HTML、URI、HTTP)

(2) 名刺を作ろう！

■やろうとすることは。。。。

①インターネット上から名刺作成ソフトをダウンロード・解凍して、

②名刺のデザインを編集し、

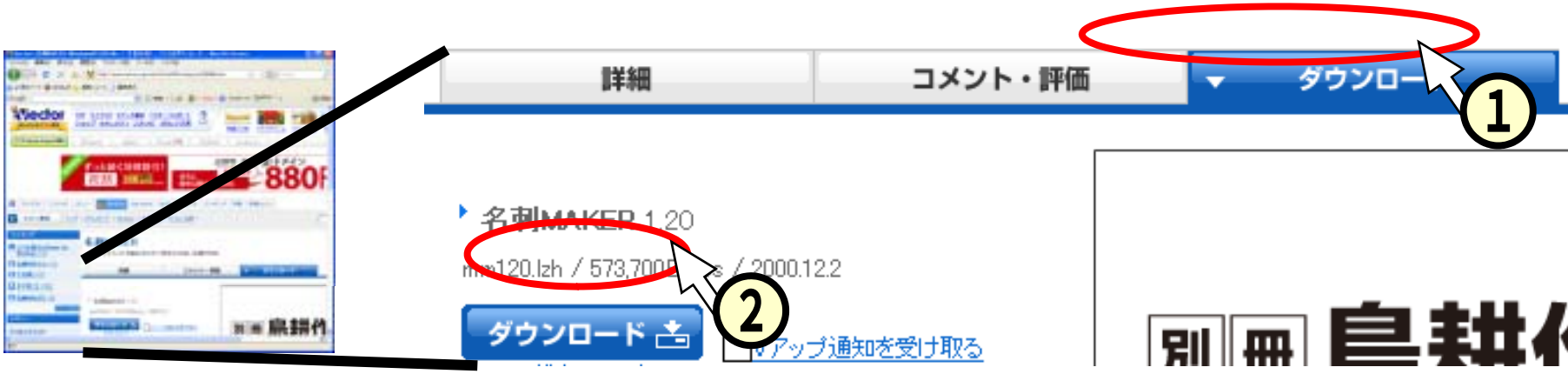
③作成したファイルを転送し、

④講師がプリントアウトする

(2．1) ソフトウェアのダウンロード

■今日ダウンロードするソフト：「名刺MAKER1．20」

- http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/writing/se125806.html



■プロトコル

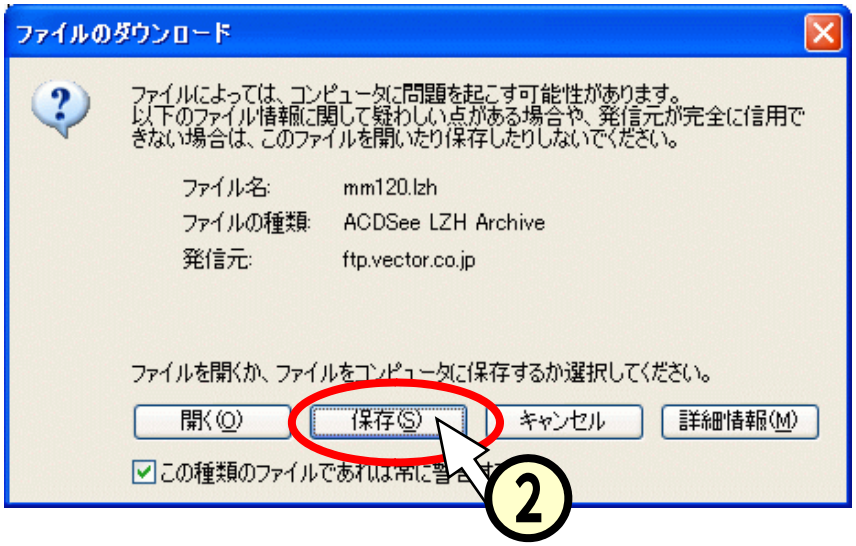
- コンピュータ同士で通信するときには、約束事（プロトコル）が必要。
- ファイルを送る時の約束ごとを、“FTP（File Transfer Protocol：ファイル転送プロトコル）”と呼ぶ。

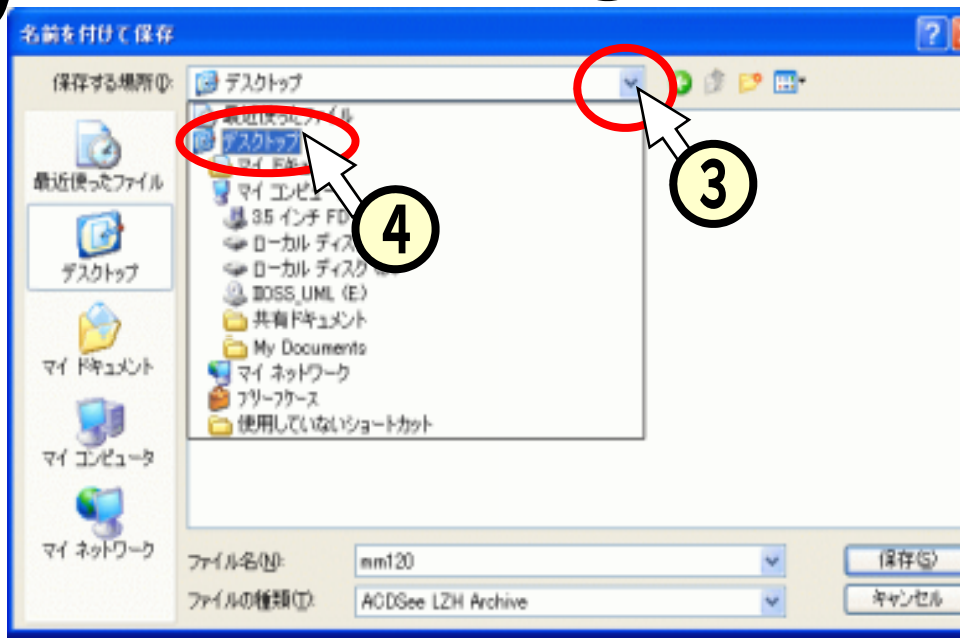
(2．2) 手順：ダウンロード

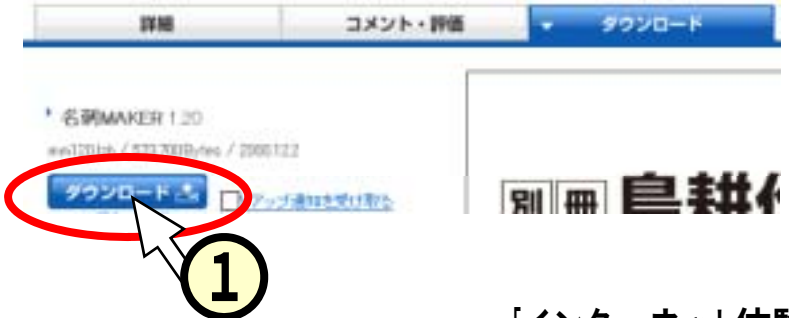
■“ダウンロード”をクリック（①）する。

■「ファイルのダウンロード」ダイアログで、ファイルを保存することを選択する。すなわち、[保存]ボタンをクリック（②）する。

■「名前を付けて保存」ダイアログで、保存場所をデスクトップにする。すなわち、保存場所の[▼]をクリック（③）してマップを出し、デスクトップの行をクリック（④）する。





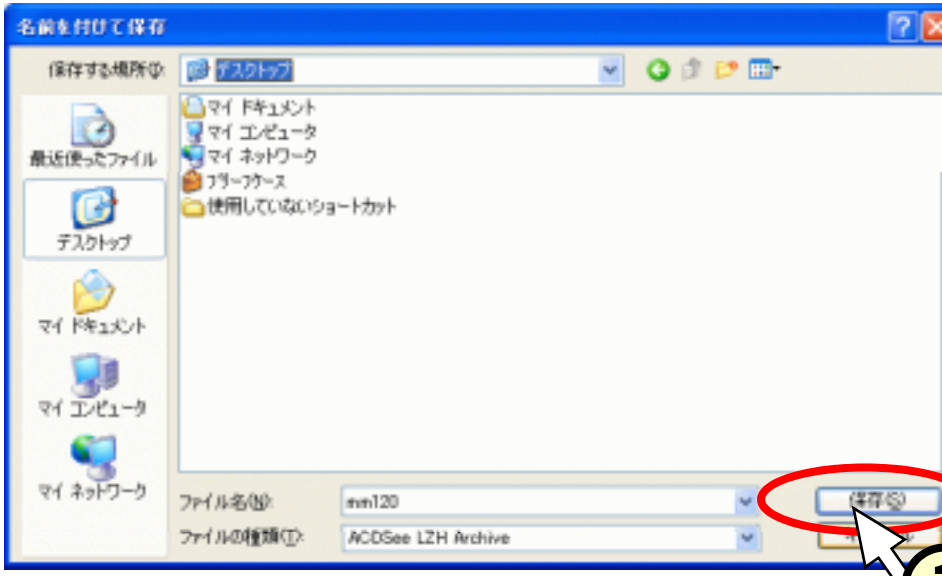


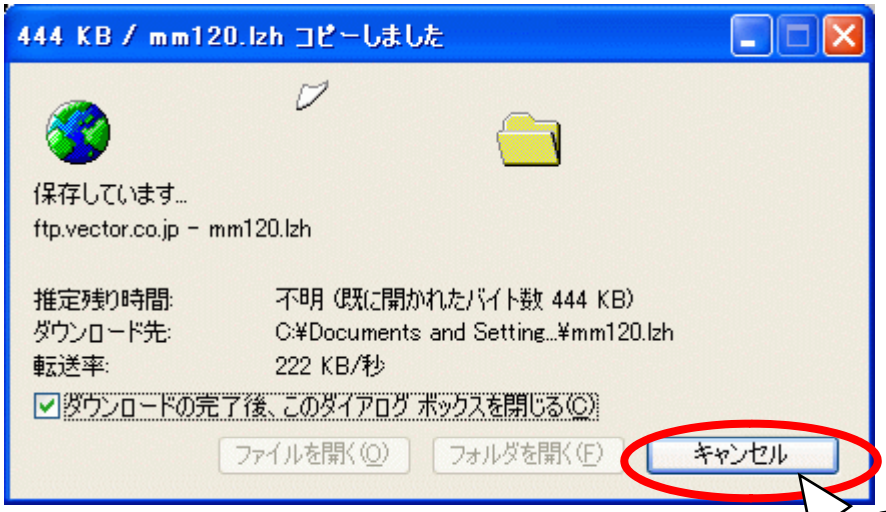
(2．3) 手順：ダウンロード　(つづき)

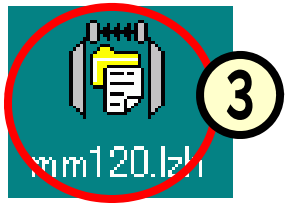
■「名前を付けて保存」ダイアログで、[保存]ボタンをクリック（ ① ）する。ファイルの転送が開始される。

■「ダウロードの完了」ダイアログで、[閉じる]ボタンをクリック（②）する。

■デスクトップ上に、フォルダ（③）が現れたことを確認する。





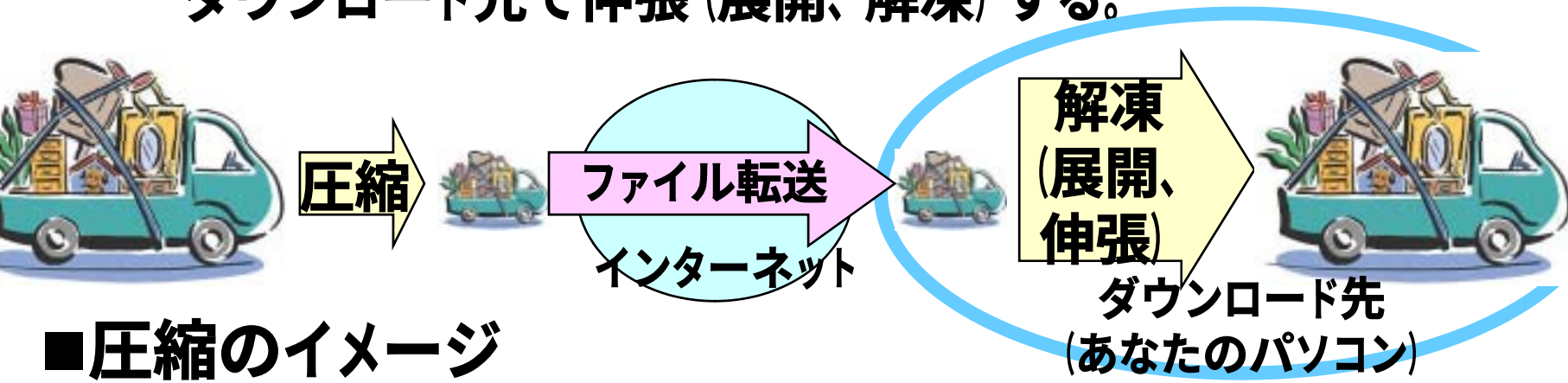


(2．4) ファイルを“解凍”

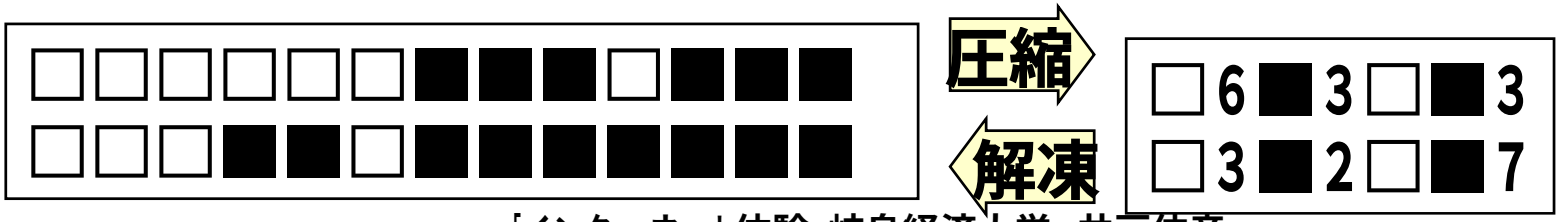
■“解凍”って、どういうこと？

ファイルが凍っているの？

- ネットワークでファイルを送る時、
  大きなファイルだと時間が掛かる。
  ⇒ファイルを圧縮しておいて、ネットワーク上を通し、
  ダウンロード先で伸張（展開、解凍）する。



■圧縮のイメージ

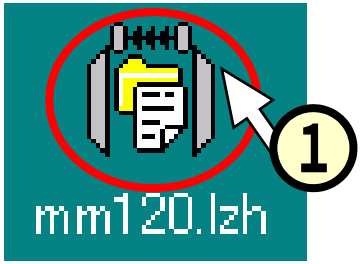


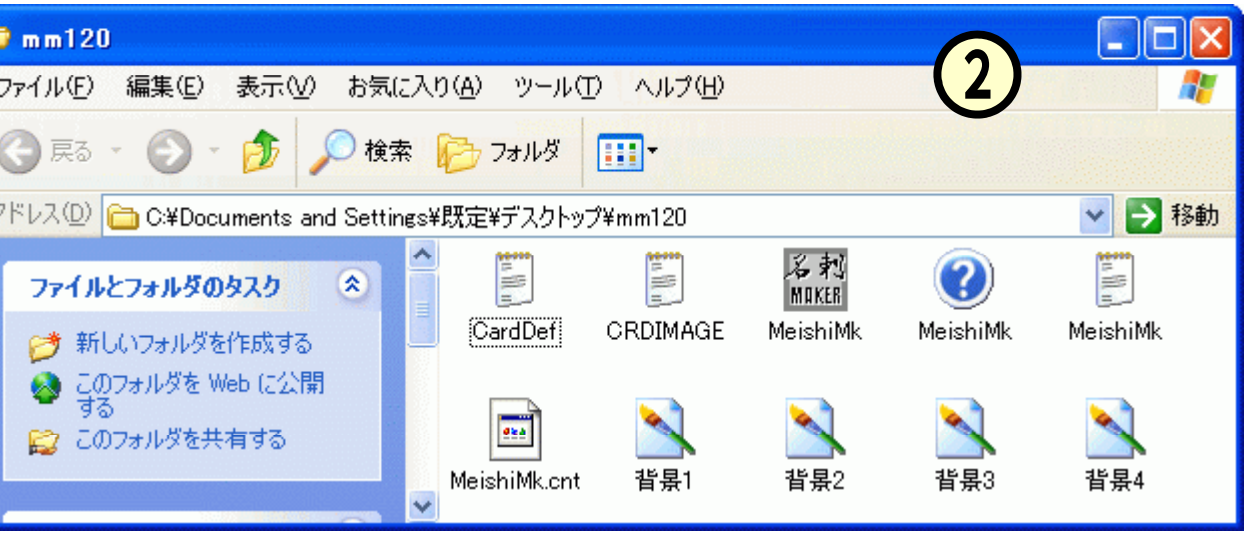
(2．5) 手順：ファイルの解凍

■“mm120.lzh”のアイコンをダブルクリック (①) する。

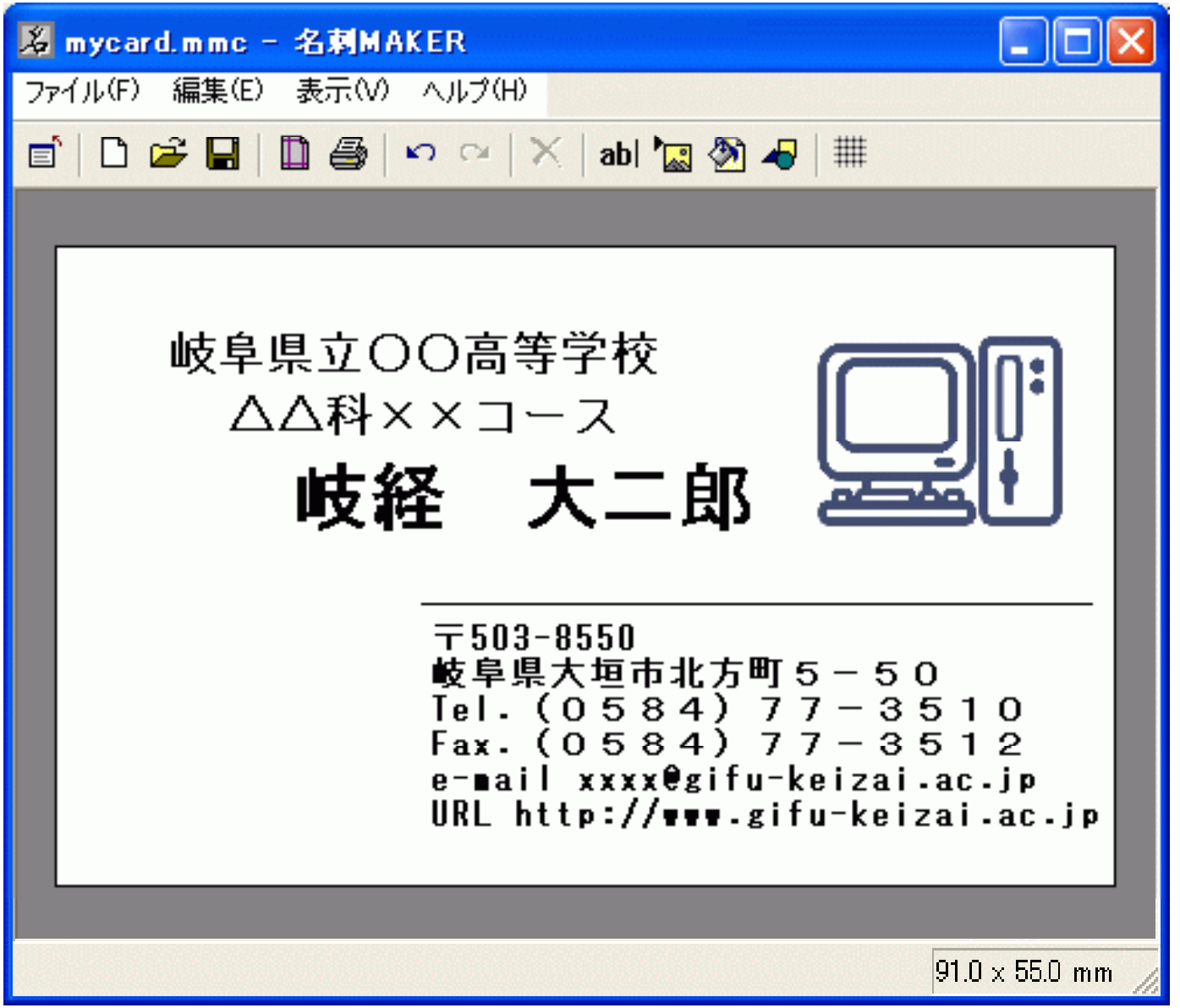
■“mm１２０”のフォルダが開く (②)。

■実体は、“マイドキュメント”のフォルダの中にある (③)。





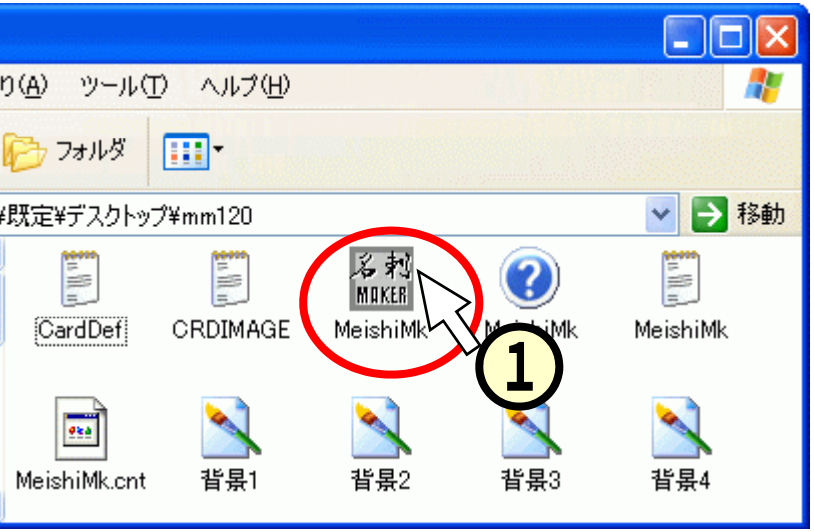
(3) こんな名刺を作ろう！

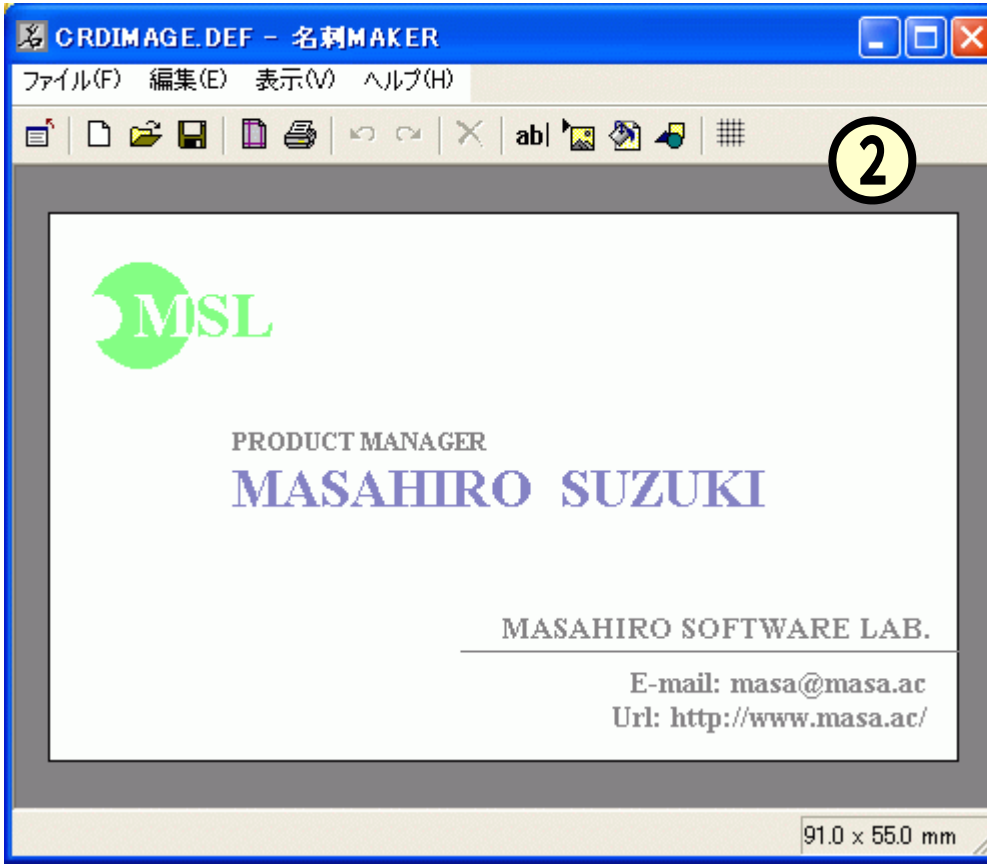

mycard.mmc - 名刺MAKER
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)
岐阜県立〇〇高等学校
△△科××コース
岐経　大二郎
〒503-8550
岐阜県大垣市北方町５－５０
Tel.（０５８４）７７－３５１０
Fax.（０５８４）７７－３５１２
e-mail xxxx@gifu-keizai.ac.jp
URL http://www.gifu-keizai.ac.jp
91.0 x 55.0 mm

(4) 名刺作成ソフト：起動手順

■「mm120」のフォルダの中の、[MeishiMK]のアイコンをダブルクリック（①）する。

■編集画面が出てくる（②）。



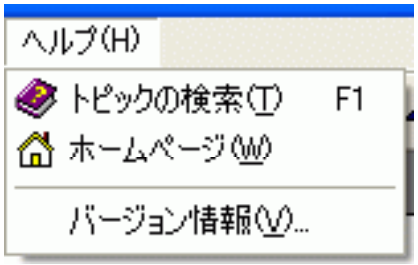


(4．1) メニュー

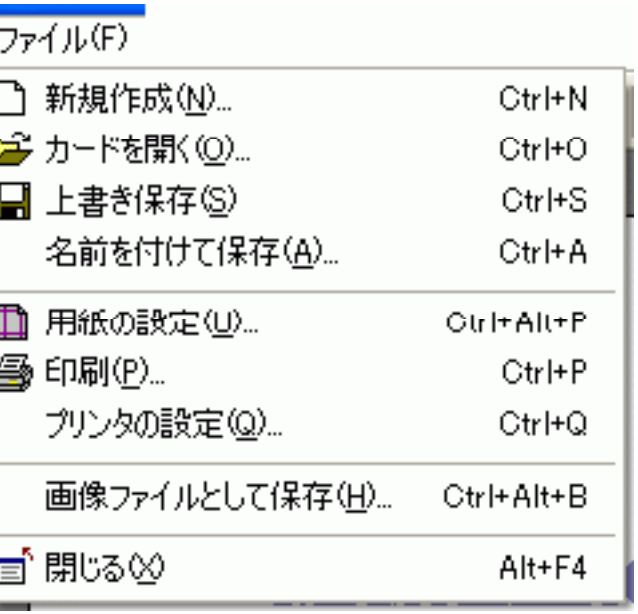
■メニューの全体像

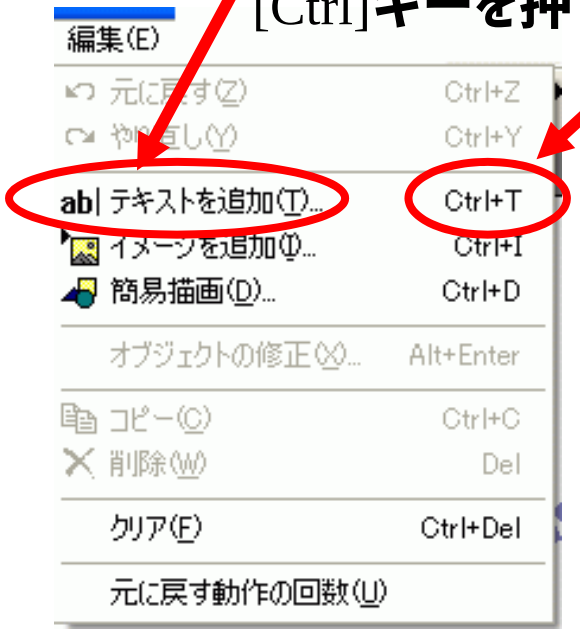
- 使いながら、どのような機能なのかを見ていこう！

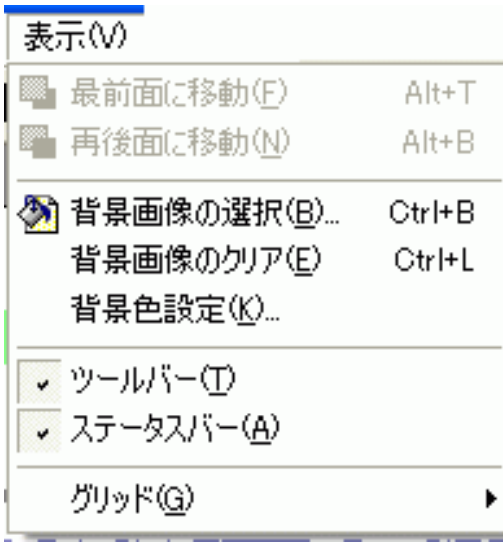
＜メインメニュー＞



どちらをクリックしても同じ。
[Ctrl]キーを押しながら[T]を押しても同じ







(4．2) 手順：名刺の編集：1：新規作成

■[新規作成]のボタン（ ）をクリック（①）する。

■真新しい白い画面が出てくる（②）。

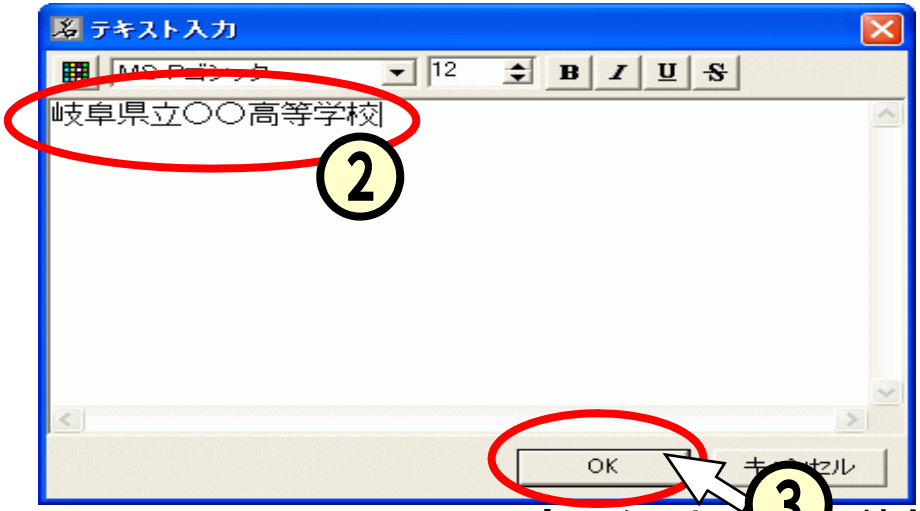
(4．3) 手順：2：テキストを追加

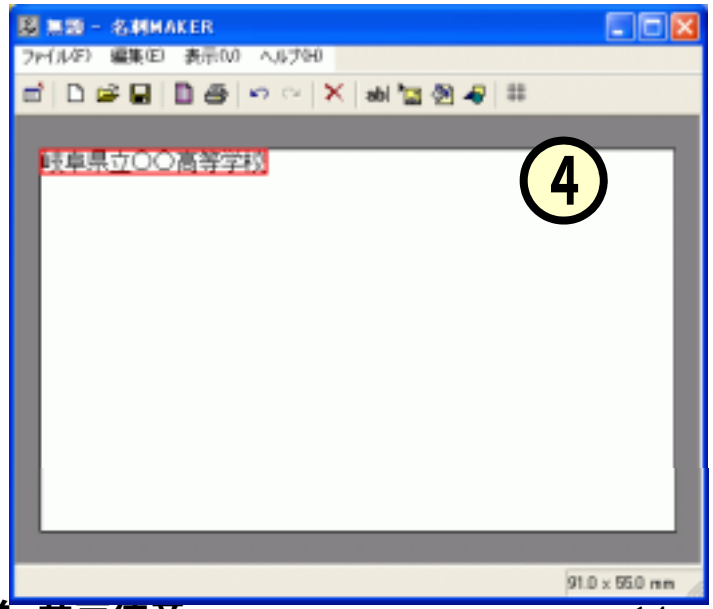
■[テキストを追加]のボタン（ab|）をクリック（①）する。

■「テキスト入力」のダイアログが出てくるので、学校名を入力（②）し、[OK]ボタンをクリック（③）する。

■名刺画面上に、学校名が現れる（④）。

（赤い線は、印刷されないので、気にしなくて良い。）





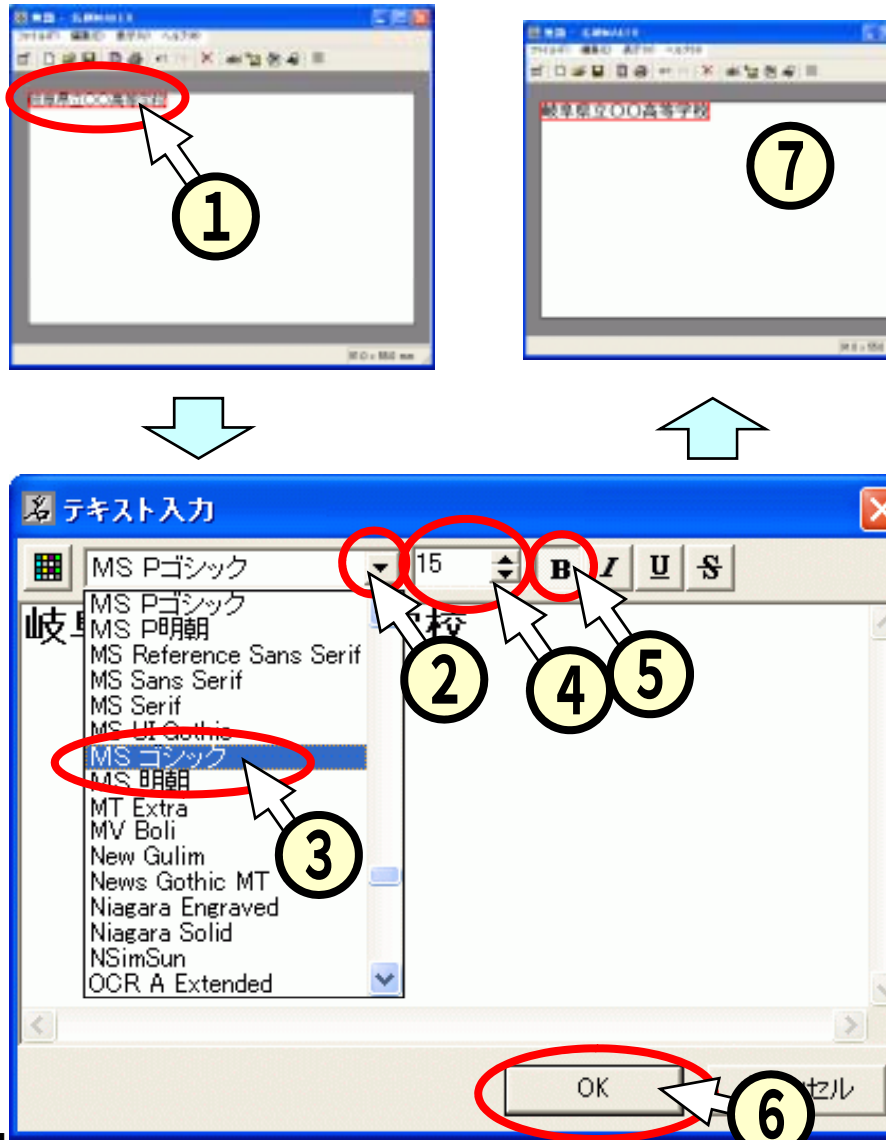
(4．4) 手順：3：テキストの見栄えを変える

■入力したテキストのエリアをダブルクリック (①) する。

■出てきた「テキスト入力」ダイアログで次の作業を行う。

- フォントの[▼]をクリック (②) して“ＭＳゴシック”を選択・クリック (③) する。
- サイズの[▲]ボタンをクリック (④) して、値を“１５”とする。
- “ボールド”[B]ボタンをクリック (⑤) して太字にする。
- [OK]ボタンをクリック (⑥) する。

■見栄えの変更を確認する (⑦)。

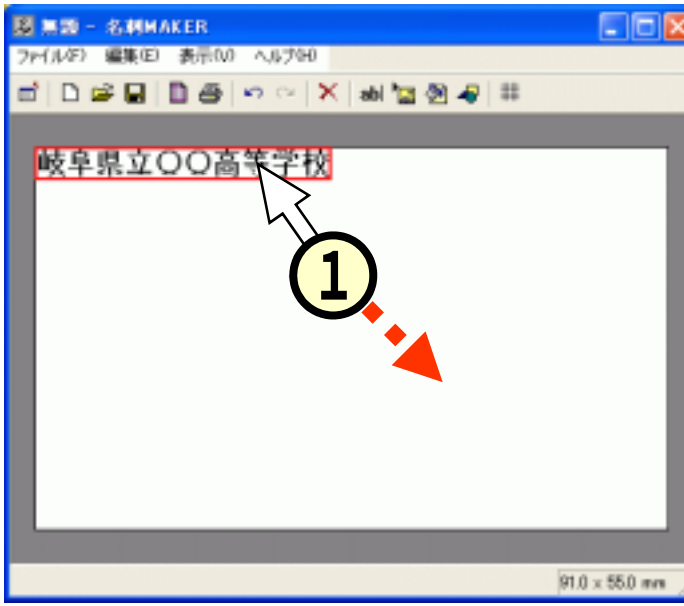


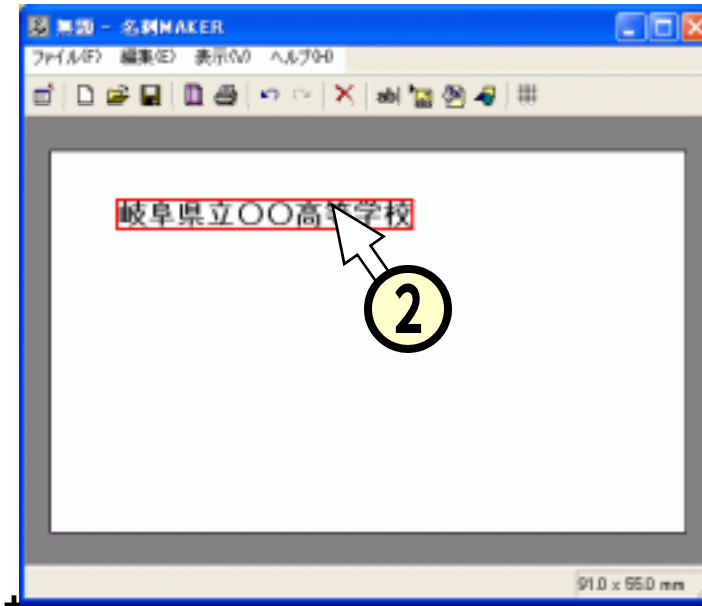
(4．5) 手順：4：テキストの位置を変える

■テキストのエリアをドラッグして、適切な位置に移動させる。

※ドラッグ

- テキストのエリアでマウスの左ボタンを押しっぱなしにする（①）。
- マウスを移動させる。
- 移動した後、マウスの左ボタンを離す（②）。

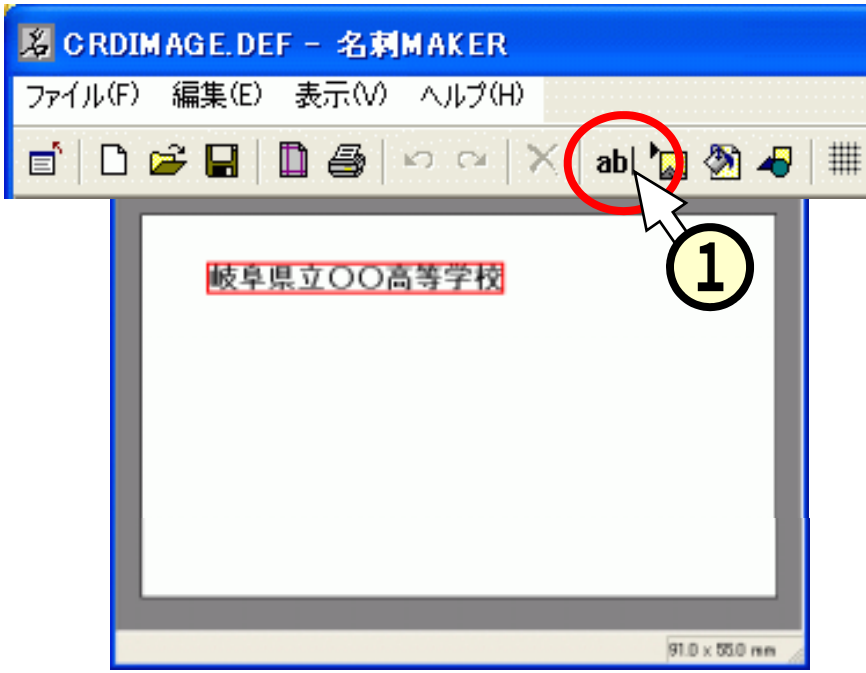


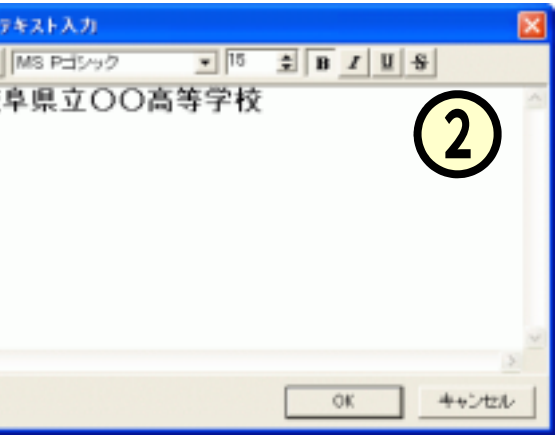


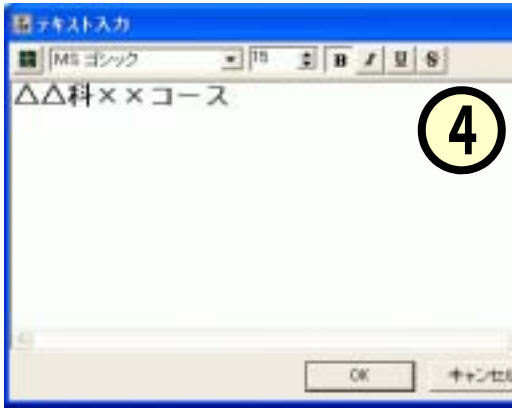
(4．6) 手順：5：2度目以降のテキスト追加

■[テキストを追加]のボタン（ ab| ）をクリック（①）すると、前回に入力した文字が入力された状態で、「テキスト入力」のダイアログが出てくる（②）。

■これを消して（③）、新たにテキストを入力（④）する。

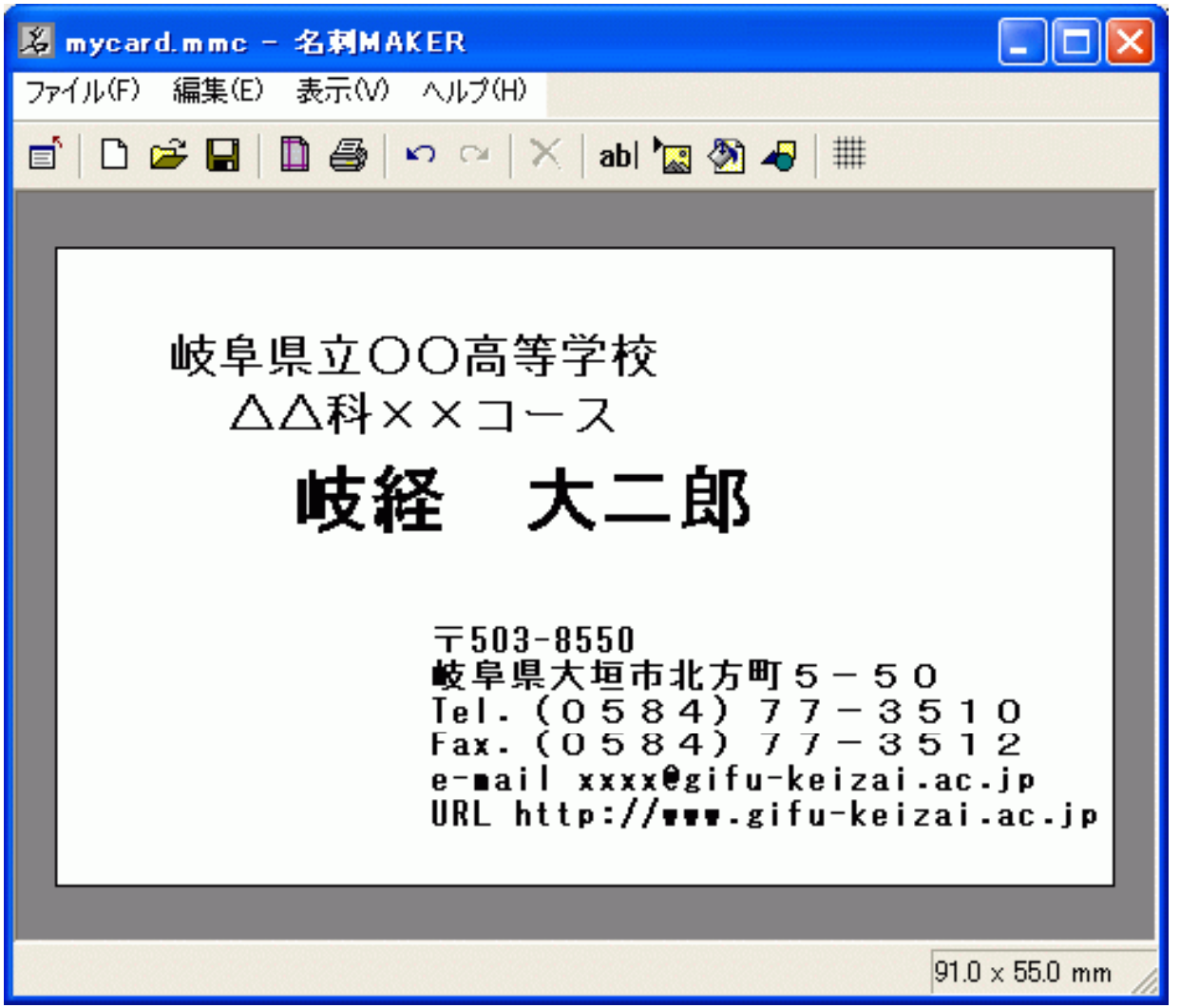






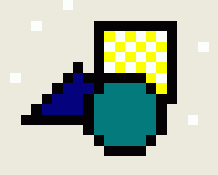
(4．7) 手順：6：テキスト部分を完成させる

■同じ要領で、名前などの記載を編集する。



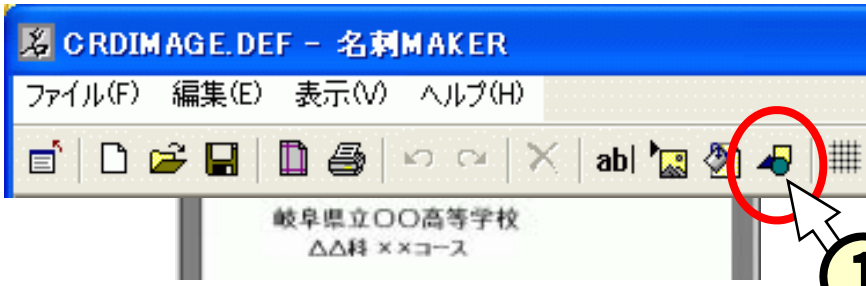
(4．8) 手順：7：図形を追加する

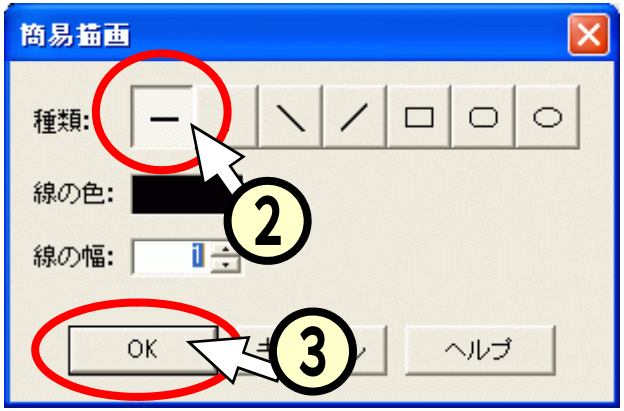
■[簡易描画]ボタン（　　）をクリック（①）する。

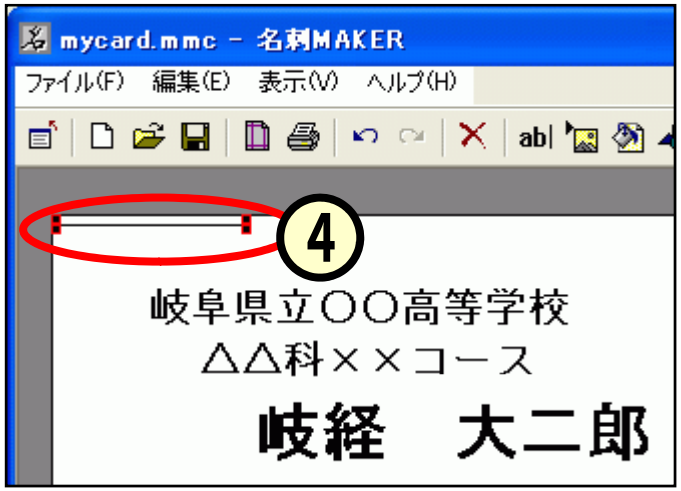


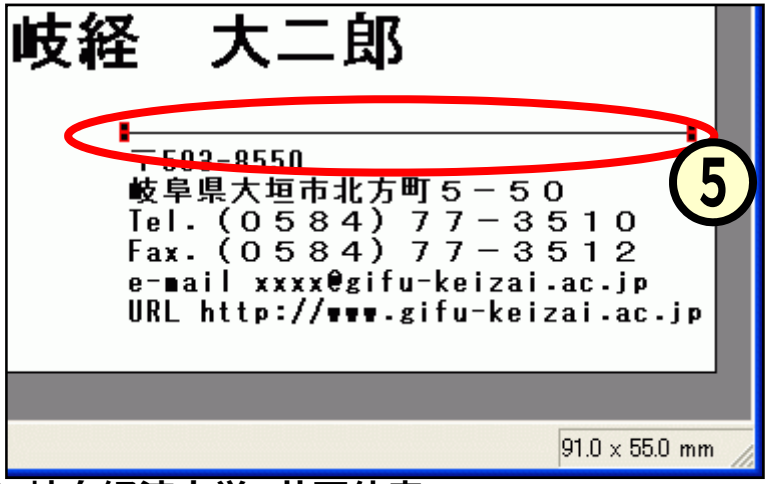
■「簡易描画」ダイアログで、横棒[-]ボタンをクリック（②）し、[OK]をクリックする。

■カードに現れた横線（③）をマウスでドラッグして、位置と長さを調整（④→⑤）する。

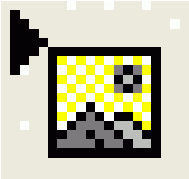


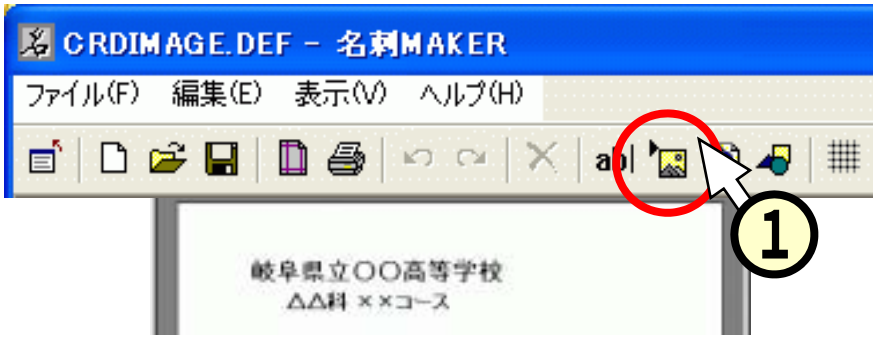




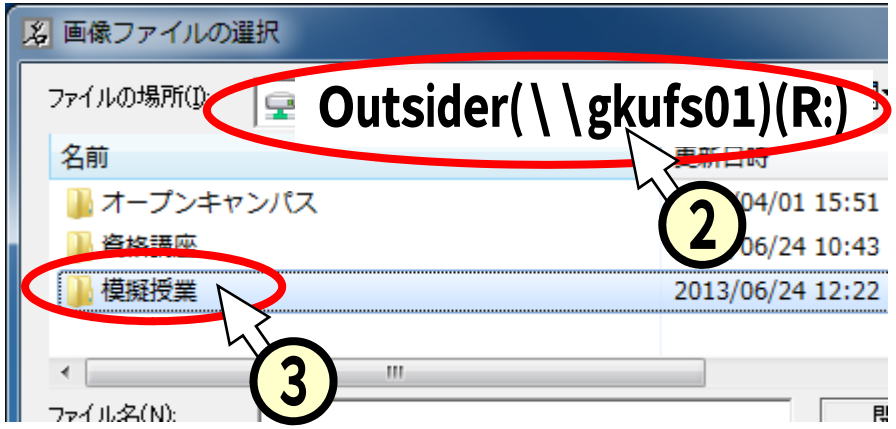


（4．9）手順：8：イメージを追加する

■[イメージを追加]ボタン（  ）をクリック（①）する。



■「画像ファイルの選択」ダイアログで、ファイルの場所を“outsider(\\gkufs01)(R:)”にする。すなわち、保存場所の[▼]をクリックしてマップを出し、該当の行をクリック（②）する。



■フォルダの一覧の中から、[模擬授業]のフォルダをダブルクリック（③）する。

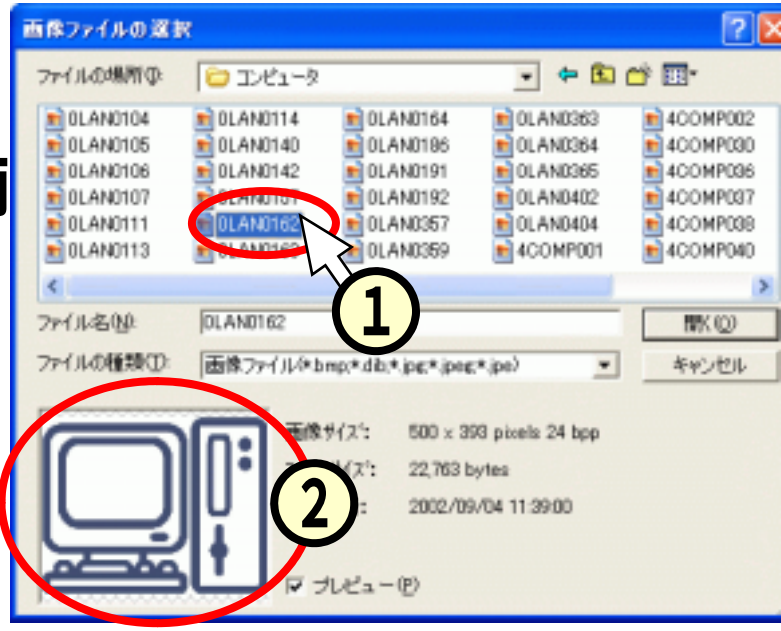
■同様に、[素材]、[コンピュータ]のフォルダを順にダブルクリックする。

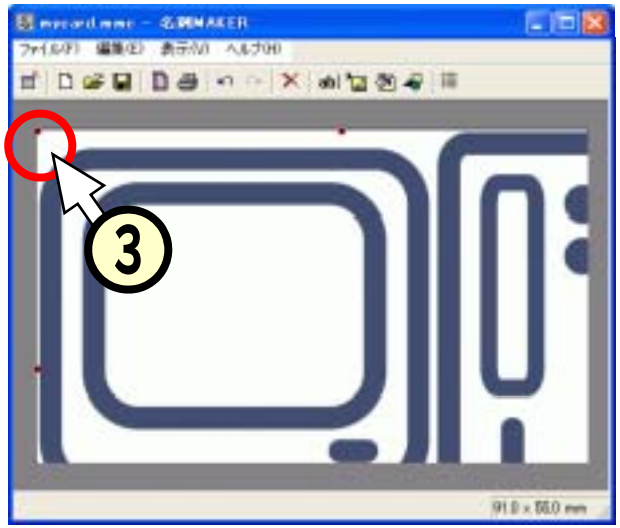
(4.10) 手順：9：イメージを追加する（つづき）

■ファイル一覧が出てきたら、ファイルのアイコンをクリック（①）し、プレビュー（②）を見ながら、好きな図柄を選ぶ。

■図柄が決まったら、[開く]ボタンをクリックする。

■追加されたイメージは大きすぎるので、赤い点（③）をドラッグして大きさを調整し、適当な位置に配置する（④）。





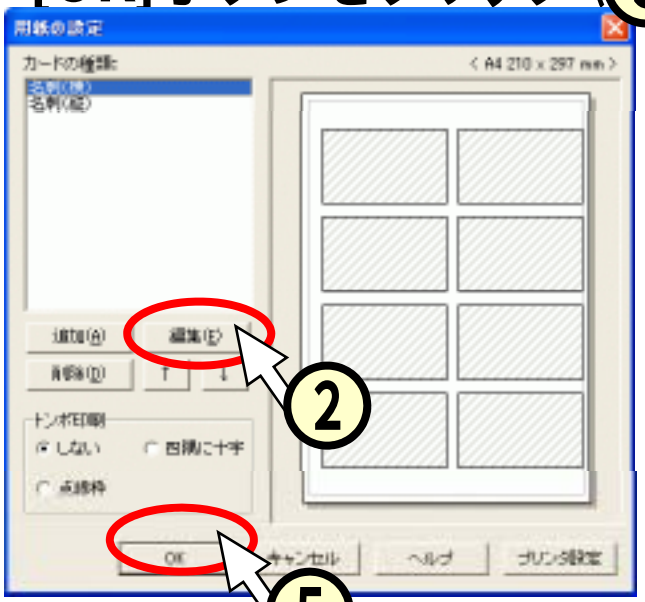
(4．11) 手順：10：用紙の設定

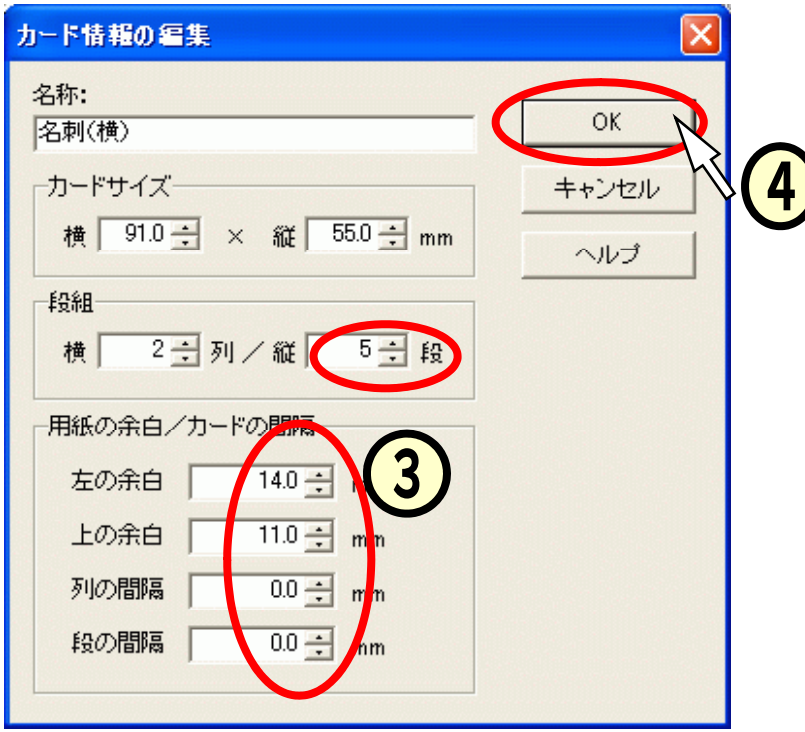
■[用紙の設定]ボタン（ ）をクリック（①）する。

■「用紙の設定」ダイアログで、編集をクリック（②）する。

■サイズの値を入力（③）し、[OK]ボタンをクリック（④）する。

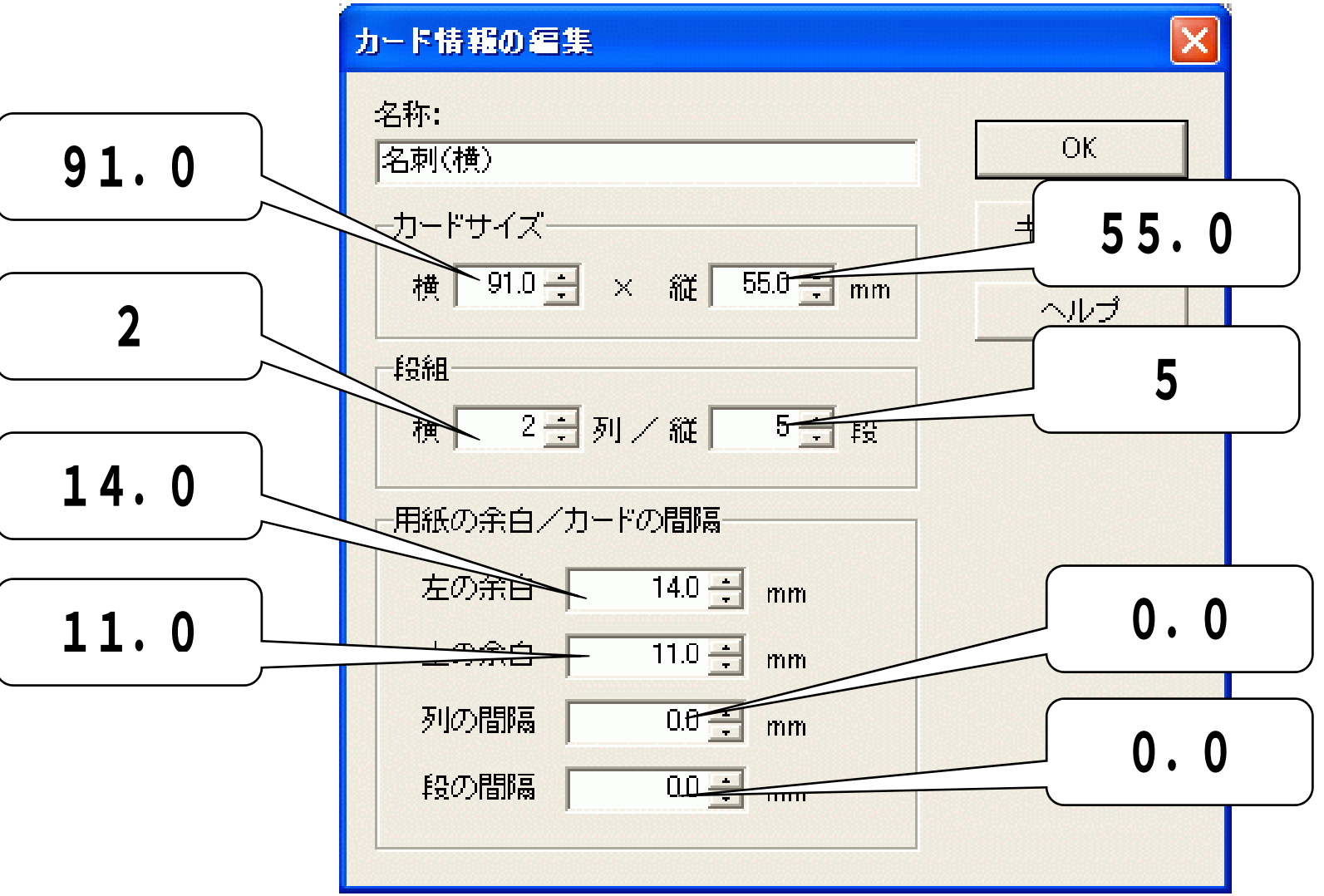
■「用紙の設定」ダイアログで、[OK]ボタンをクリック（⑤）する。





(4．12) 間違えないように。。。。

■サイズを間違えないように。。。。。。



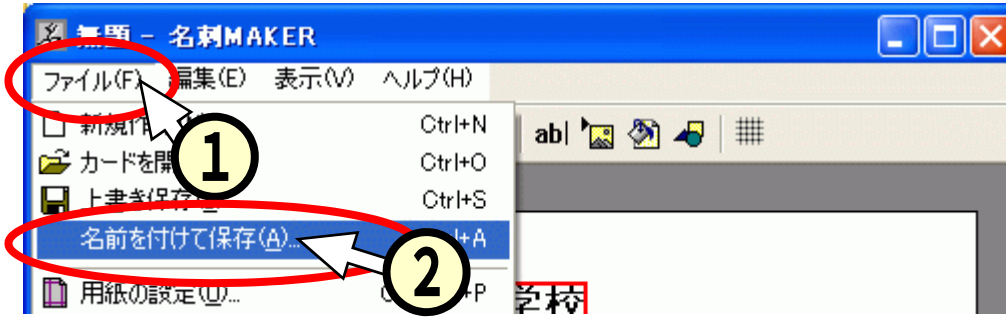
(4．13) 手順：11：ファイルをセーブする

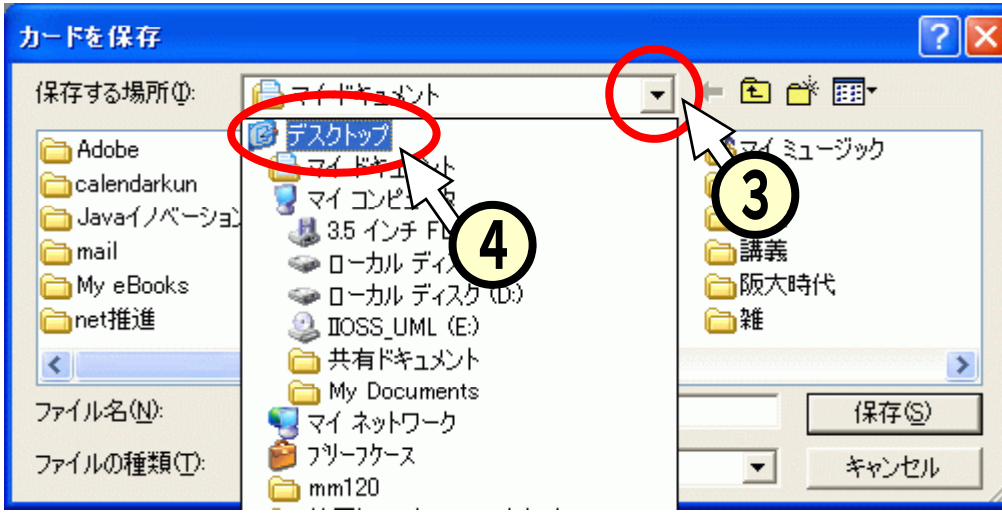
■[ファイル (①)]-[名前を付けて保存 (②)]をクリックする。

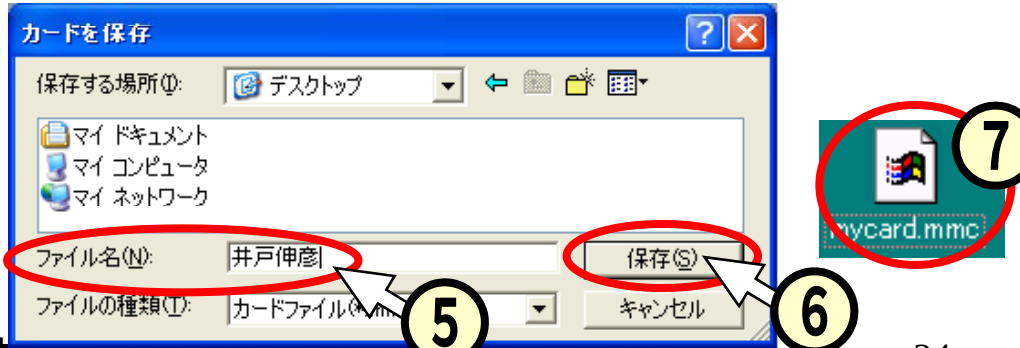
■「カードを保存」ダイアログで、保存場所をデスクトップにする。すなわち、保存場所の[▼]をクリック (③) してマップを出し、デスクトップの行をクリック (④) する。

■ファイル名として自分の名前を入力 (⑤) し、[保存] をクリック (⑥) する。

■デスクトップ上に、ファイルが出来たことを確認する (⑦)。







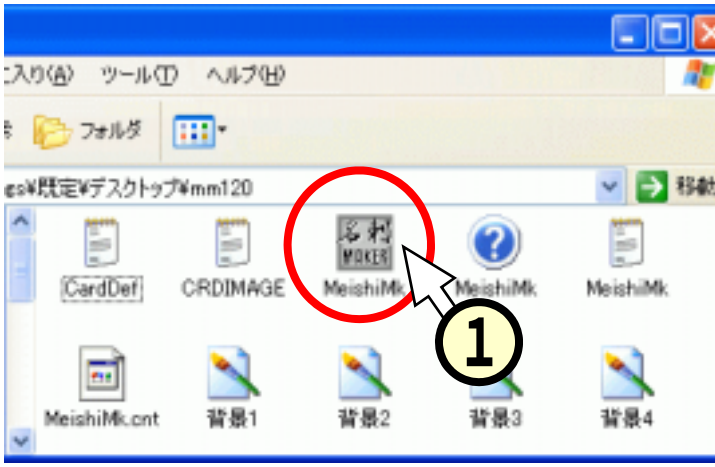
(4．14) 手順：12：ファイルを開く

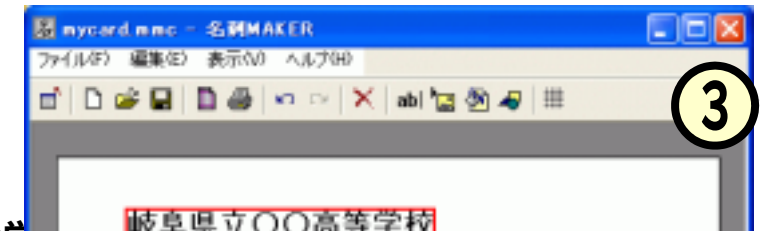
■一度閉じてしまったファイルを開く場合には、次の操作を行います。

■「mm120」のフォルダで、[MeishiMk.exe]のアイコンをクリック（①）する。

■開いた「名刺MAKER」の画面で、[カードを開く]のボタン（②）をクリックする。

■先程編集したカードが現れ（③）、再び編集が出来るようになる。





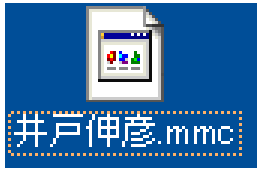
(4．15) 手順：13：ファイルの転送

■作成した名刺ＭＡＫＥＲのファイルのファイル名が、自分の名前になっていることを確認してください（拡張子を消さないように）。

- 拡張子が表示されている場合　　拡張子が表示されていない場合

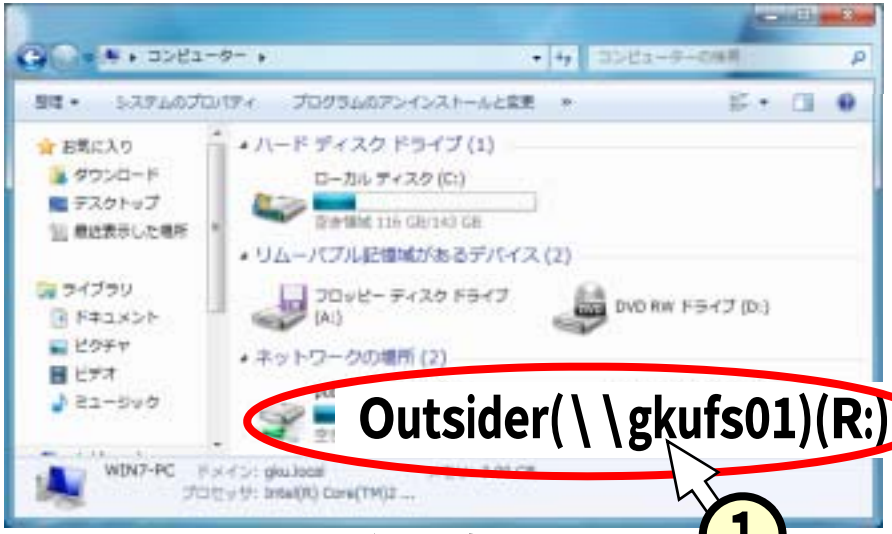
井戸伸彦.mmc

井戸伸彦



■「マイコンピュータ」のアイコンから、次のフォルダを順次開く。

- [マイコンピュータ]
  - -[Outsider(\\gkufs01)(R:)]
  - -[模擬授業]-[students] ①

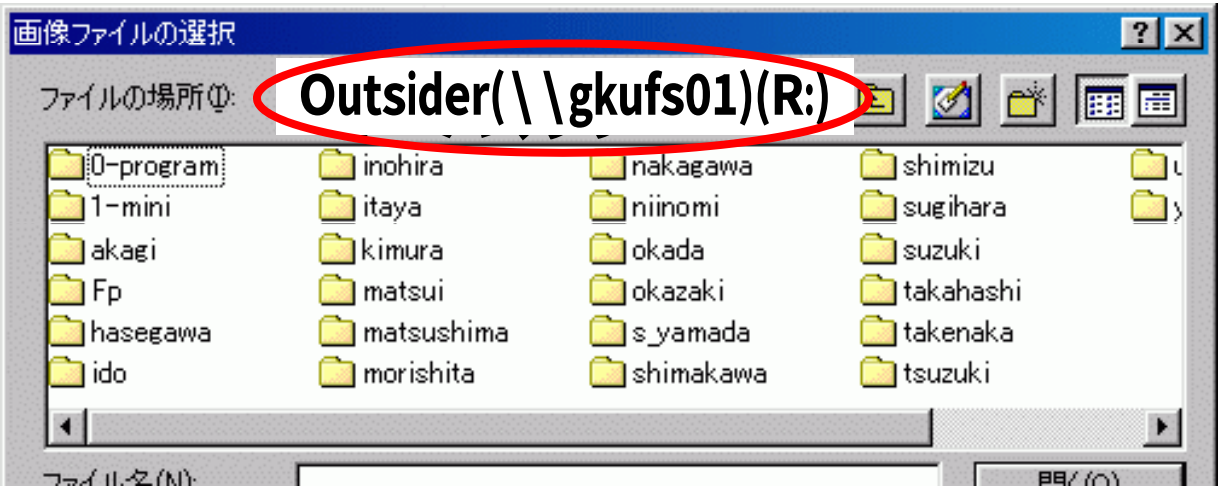


■自分の名前に変更した名刺ＭＡＫＥＲのファイルを、ドラッグして、上記の[students]のフォルダにコピーする。

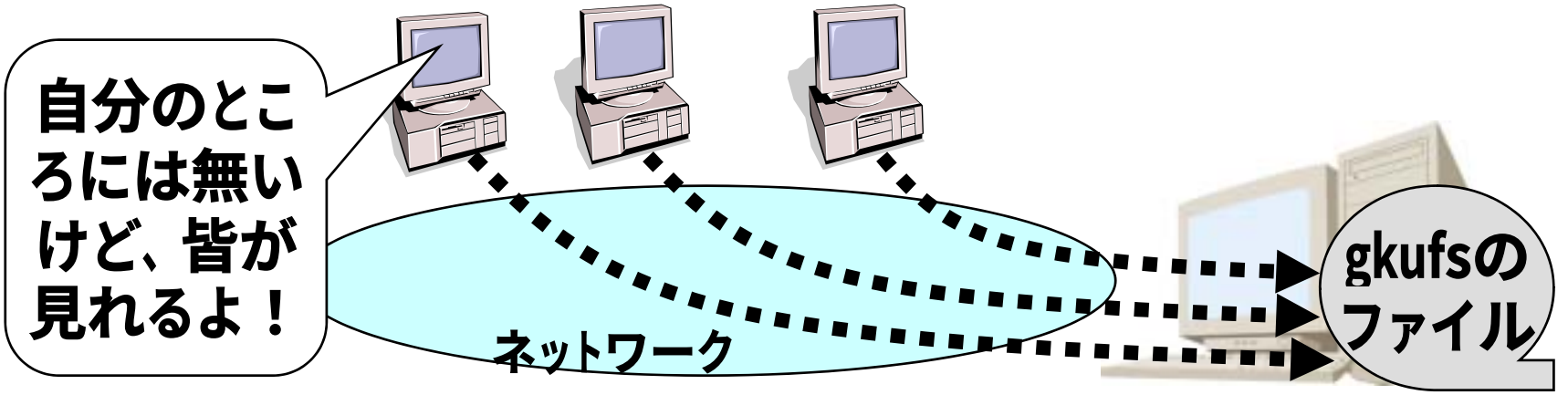
⇒ プリントアウトが済むまで、ちょっと待ってね！

(5) gkufsってなんだ？

■gkufs : Gifu-Keizai University File System



⇒ネットワーク上でファイルを共有する仕組み。



おわりに

■受講生の皆さんは、“情報リテラシィ(literacy)”、あるいは、言葉を聞いたことがありますか？

■英語で“リテラシー”とは、文字を読んで書けることをさします。文字の読み書きが出来ない人の割合を文盲率といいますが、これは社会的基盤としての教育レベルを地域別に比較する尺度として用いられます。それでは、“情報リテラシー”とは何でしょうか？

■ご存知の通り、今日では生活のあらゆる場面で情報機器に接する機会があります。情報化社会の中で文字を読み書きする能力が、“情報リテラシー”です。パソコンを用いて、電子メイルを送りワープロ文書を作成することなどを思い浮かべてください。これらの作業が出来なければ、情報化社会においては文字が読み書きできないことと同じである訳です。

■若いみなさんが、情報リテラシーをクリアして、魅力にあふれた“サイバースペース”の住人になられることを切に祈っています。